

南あわじ市議会議員選挙

兵政連

土井たくみさん

二期目の当選!



当選後あいさつをする土井たくみさん

ご支援ありがとうございました!

土井たくみさんの声
 家族や地域の方々、組合員のみなさまに支えられて今日まで走り続けてきた。今後の4年間、ご支援いただいたみなさんと話し合いを重ねながら、教職員や地域の課題を共有し、しっかりと市に要望していく。1期目の4年間でできなかったことを、この4年間でしっかりとこなしていく。みなさまのご支援、本当にありがとうございました。

10月31日に南あわじ市議会議員選挙(定数18)が執行された。兵政連の「土井たくみ」さんが1,654票を獲得し、2回目の当選を果たした。同日執行された神戸市長選挙では、兵政連が推薦した「久元きょう」さんが前回より9,685票多い43,974票を獲得し、3回目の当選を果たした。また、10月24日に執行された豊岡市議会議員選挙では、兵政連が推薦し、責任差別としてとりくんだ「義本みどり」さんが、3,044票を獲得し、初当選を果たした。新温泉町議会議員選挙では、兵政連が推薦した「中村しげる」さんが、361票を獲得し、3回目の当選を果たした。その中で「土井たくみ」さんの声を掲載する。

第71回兵庫県教育研究集会
 ひょうご教育フェスティバル
 を開催します!

第71次 兵庫県教育研究集会
ひょうご教育フェスティバル
 いきる つながる みちひろく
 ~自立と連帯・共生の学びと教育~
 2021年 11月13日(土)・14日(日)
 伊丹市: スワンホール/総合教育センター/ラスタホール
 会場 西宮市: 勤労会館/勤労青少年ホーム/鳴尾公民館/若竹公民館
 芦屋市: 市民センター
 11月は「兵庫の教育推進月間」です
 兵庫県では「兵庫教育文化研究所」を設立し、教育文化の振興を図ることを目的として、11月を「兵庫の教育推進月間」として、県内全域から参加する教職員が活躍しています。県内全域から参加する教職員が活躍しています。子ども一人ひとりが輝く、さらなる兵庫の教育の発展をめざしてまいります。
 兵庫県教育文化研究所・兵庫県教職員組合

※全体会に参加ご希望の方は、各地域組合までお問い合わせください。



神戸市長員選挙
 久元きょうさん
 3期目の当選!



豊岡市議会議員選挙
 義本みどりさん
 初当選!

夏休みファミリーパズル
 夏休みファミリーパズルにご応募いただき、ありがとうございます。正解者の中から抽選で20人の方に粗品をお送りいたします。臨探部の夏季学習会の記事の感想では、「臨時的任用教職員の方がおかれている厳しい状況を知った」「臨時的任用教職員の処遇改善にむけたとりくみが必要だ」と思う「経験年数に応じて採用試験も優遇されるべき」と思うばかりである「などの感想をいただきました。今後よりよい紙面づくりをめざしてまいります。よろしくお願ひいたします。
 (編集部)

- ★皆さんの感想やご意見をお待ちしております。
- 伊藤剛史(西宮)、田邊阿有美(伊丹)、前奥恵子(塚、谷口浩之(三田)、藤森章代(明石、中谷知里(播)、谷山由香里(三木)、吉田史子(加小)、藤井秀美(多西、福山美保子(姫路、岡本忠明(神崎)、松川恵子(赤相、金田明子(揖龍、廣地千秋(豊岡)、山根柚香(養父、余田啓子(氷上、竹見静佳(多紀)、安倍由貴(洲本)、戎美香(津名) 山岡仁子(南あわじ) 敬称略



私の友だち
 三木市立三木小学校
 4年 戸倉華音

(一財)兵庫県学校厚生会

自宅でチョコレートづくり体験 ~カカオ豆からチョコレートを作ろう!~

チョコレートの原料がカカオ豆であることは多くの方が知っていると思います。

では、カカオ豆を実際に見たことはありますか?カカオ豆からチョコレートを作ったことはありますか?

カカオ豆からチョコレートを作る工程は少し大変ですが、苦労して作ったチョコレートの味、なによりもその体験は忘れられない思い出になること間違い無し!

また、手作りキットに付属のブックレットにはカカオの歴史や由来など豆知識がたっぷり、食育にもおすすめです!

この機会に本当のチョコレートを自分の手でつくる貴重な体験をしてみませんか?



お届け期間 2022年1月24日(月)~1月28日(金)
 募集対象 全会員 募集数 300セット
 参加会費 1,690円(材料費・送料を含む)
 ※会員限定の特別価格です
 申込締切日 12月12日(日)
 ※Web 申込限定のため、電話での申込みはできません。

オンライン開催
 手作りキットを自宅
 へお届けします!



詳細・申込はこちら!!
 厚生会公式サイト
 「スマイルポート」
 共通パスワード「kouseikai」

第48期青年部労働学校

教職員が心身ともに健康であることが、子どもにとって最高の教育条件整備!

10月17日、第2回青年部委員会・第48期青年部労働学校を神戸市教育会館で開催した。

青年部が直面している職場実態をもとに、小西書記長と深江貸対部長から今次対県確定闘争における課題や青年教職員の職場・生活実態アンケートについて問題提起をおこなった後、分散会で地区ごとに集まり、対県要請行動の要請内容等について協議した。(アンケート結果を一部抜粋)

小西書記長から、「わたしたちの賃金と2021対県確定闘争の課題」と題した問題提起があった。

また、深江貸対部長からは「青年教職員の職場生活実態について2021青年部生活・職場実態調査のとらえから」をテーマに、生活・職場実態アンケートの結果をもとに問題提起があった。

分散会では、対県確定交渉における重点要求項目や生活・職場実態アンケートの分析結果などについて意見交換し、学校現場の課題を解決するために何ができるのか、何をすればよいかを討議し、情報共有をはかることができた。

生活・職場実態アンケートより

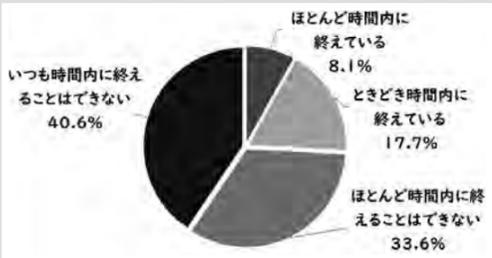
校種	幼稚園	小学校	中学校	特支・養護
	0.2	74.0	24.3	1.6
勤務形態	正採	臨時的任用	会計年度任用	
	78.2	20.7	1.2	

回答者分布 (数字は%)

いま、あなたの仕事上の悩みはどんなことですか？(複数回答可)

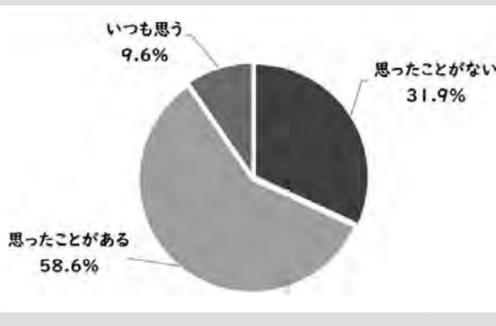


あなたは、仕事を勤務時間内に終わることができていますか？

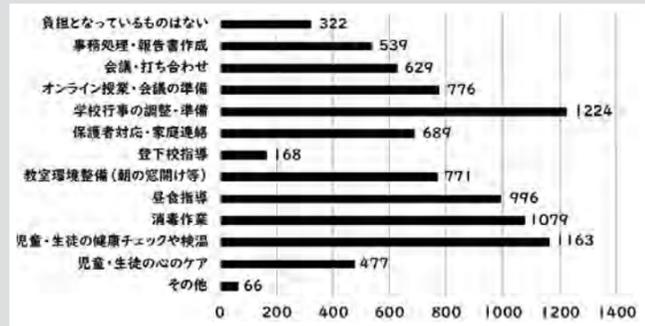


一日平均の超過勤務
2時間20分

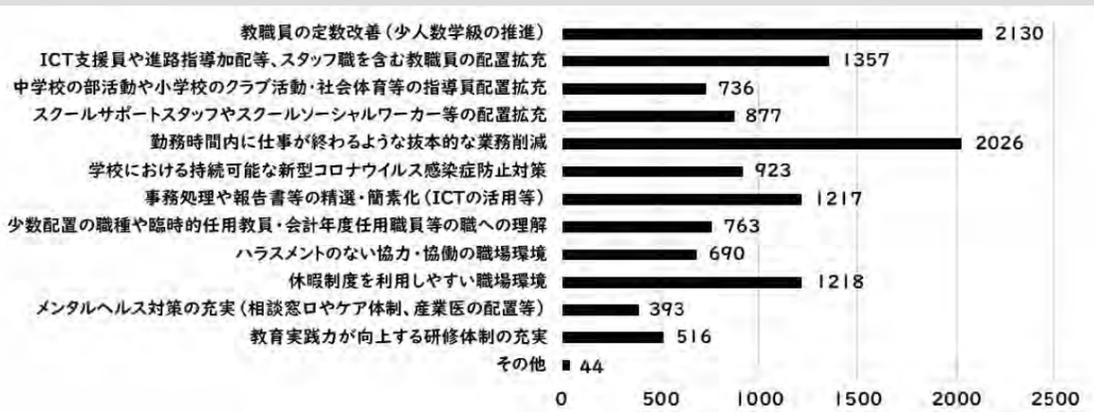
あなたは、教職員という仕事を「やめたい」と思うことがありますか？



新型コロナウイルス感染症に関わる業務の中で、負担になっていることはどんなことですか？(複数回答可)

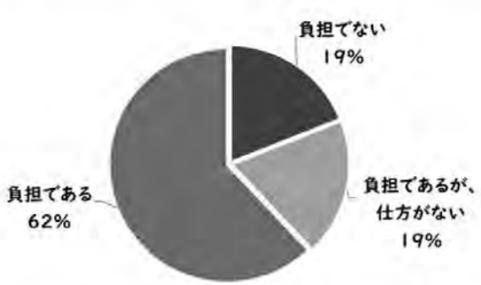


わたしたち青年教職員がいきいきと働き続けられる職場であるために、どのようなことが必要だと思いますか？(複数回答可)

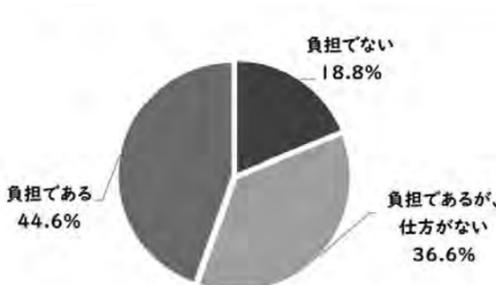


小学校の教育課程外のクラブ活動・スポーツ少年団等や中学校の部活動は、教職員にとって、負担であると思いますか？

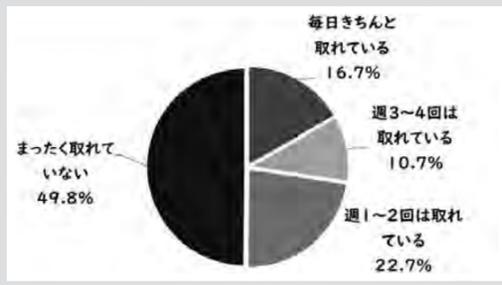
【小学校】



【中学校】



あなたは、休憩時間がきちんと取れていますか？



「休憩時間が取れていない」の設問に対し、49.8%の人が「まったく取れていない」と回答した。小学校で81%、中学校で81.2%も回答した人が、小学校で「まったく取れていない」と回答した。毎日きちんと取れている人は、わずか16.7%しかいない。

小学校の社会体育・スポーツ少年団等や中学校の部活動を「負担である」「負担であるが仕方がない」と回答した人が、小学校で81%、中学校で81.2%も回答した。部活動や社会体育などが青年教職員にとって大きな負担となっている。また、大会や試合などの休日出勤などで時間的にも金銭的にも多大な負担となっている。

「休憩時間が取れていない」の設問に対し、49.8%の人が「まったく取れていない」と回答した。小学校で81%、中学校で81.2%も回答した。部活動や社会体育などが青年教職員にとって大きな負担となっている。また、大会や試合などの休日出勤などで時間的にも金銭的にも多大な負担となっている。

2,683人から得られたアンケート結果によると、職場での超過勤務の一日平均時間は2時間20分、昨年の調査結果より8分少なくなったが、超過勤務の多い現状は変わっていない。さらに、「自宅に帰って仕事をすると回答した人の持ち帰り仕事の一日平均時間は、昨年と同じの1時間2分となっており、ワーク・ライフ・バランスの改善がすすんでいない実態があらわになった。

また、「新型コロナウイルス感染症に関わる業務の中で、負担になっていることとはどんなことですか？」との設問に対し、「教職員の定数改善」、「勤務時間内に仕事が終わるような本格的な業務削減」と回答した人が2,000人以上もいる。教職員の業務量の多さを物語っている。

自由記述では、「少人数学級を推進してほしい」「仕事量が減ってほしい」の意見が寄せられた。感染症に関わって業務が増加し、今まで以上に子どもと向きあう時間や教材研究の時間が失われている。

さらに、「わたしたち青年教職員がいきいきと働き続けられる職場であるために、どのようなことが必要だと思いますか？」という設問に対し、「教職員の定数改善」、「勤務時間内に仕事が終わるような本格的な業務削減」と回答した人が2,000人以上もいる。教職員の業務量の多さを物語っている。

自由記述では、「少人数学級を推進してほしい」「仕事量が減ってほしい」の意見が寄せられた。感染症に関わって業務が増加し、今まで以上に子どもと向きあう時間や教材研究の時間が失われている。

さらに、「わたしたち青年教職員がいきいきと働き続けられる職場であるために、どのようなことが必要だと思いますか？」という設問に対し、「教職員の定数改善」、「勤務時間内に仕事が終わるような本格的な業務削減」と回答した人が2,000人以上もいる。教職員の業務量の多さを物語っている。

息抜きする時間がないくらい忙しいので疲れる。しかし、「子どものために」と思ってがんばってしまうので、より忙しくなってしまう。今後働き続けることが難しい。特別支援学級で担任をしているが、指導補助員が1人しかいないため、人が足りない。子どもの実態に応じた人員配置をしてほしい。オンライン学習の急な導入で、負担が大きい。

子どもにむき合える時間が減った。

勤務時間中に教材研究をする時間十分に確保できない。

結婚したり、子どもができてきたりしたときに、仕事と生活を両立するのは難しい。今後働き続けることが難しいのか不安。

特別支援学級で担任をしているが、指導補助員が1人しかいないため、人が足りない。子どもの実態に応じた人員配置をしてほしい。オンライン学習の急な導入で、負担が大きい。



▲全体会の様子



◀分散会の様子

職場環境の改善にむけ、主体的に行動を!